

越生・鳩山新校準備委員会（第4回） 議事録

- 1 日 時 令和6年5月28日（火） 午前10時開会
午前11時30分閉会
- 2 会 場 県立越生高等学校白梅館
- 3 出席委員 依田委員長、中山副委員長、田中副委員長、岩澤委員、
松浦委員、長島委員、本橋委員、岡村委員、高橋委員、
白石委員、武藤委員、廣川委員
- 4 事務局 魅力ある高校づくり課 出井、渋沢、坂本、高辻、小川
- 5 協議等 「新校の校名検討について」
依田委員長 それでは、資料にもとづきまして事務局から説明をお願いしたいと思います。
よろしくをお願いします。
事務局 （「資料1 校名検討の流れ」について説明）
依田委員長 校名検討の流れについて説明がありましたが、皆様、御質問、御意見は
ございますか。よろしいでしょうか。このような流れで進んでいくように想定して
おりますので、よろしくをお願いします。それでは、続けて資料の説明をお願いします。
事務局 （「資料2 校名アイデア募集の概要（案）」、「資料3 校名アイデア募集案
内（案）」について説明）
依田委員長 はい。事務局から説明がございました。この後、一つ一つかいつまんで
皆様方の御意見をいただいていると考えておりますが、まず、今の説明の全体を
とおして、お気づきの点、また、御質問、御意見がございましたらお願いしたいと
思いますが、いかがでしょうか。
白石委員 こちらの応募用紙について、さきほど説明がありましたお名前の右下の方
にチェック欄があるのですが、これは例えば直近の卒業生も結構関心があると思
います。そこに少し関わっていきたい、自分もなにかアイデアを出したいという場合
はチェックを入れて良いですか。在籍はしていないけれど、卒業したというところ
はどうでしょうか。
事務局 はい。御説明させていただきます。どこの新校準備委員会でも共通とさせて
いただいているところで、これは在籍している生徒にチェックを入れていただく
という形で考えています。やはり、今、この学校で学んでいる生徒は1番思いが強い
かと思えます。卒業した生徒もそうだと思うのですが、そこは少し区切っていかな
いと、かなり年配の方も卒業生となるので、そうするとチェックの内容が少しぶれ
てしまうと考えています。
依田委員長 白石委員、これが分かりづらいというところの御指摘ですか。

白石委員　そうですね、私自身も関わっていますし、一般は一般的なのですが、鳩山高校の保護者というだけではなく、私も卒業生なので、一般とは少し立場が違と思います。何かしら鳩山高校に関わっていましたということを県にアピールできたらと思いました。

依田委員長　在籍する生徒というところをもう少し強調した方が良いのかもしれないですね。そういう思いのある方は在籍する生徒に準じると思い、チェックを入れる方がいるかもしれないですね。

事務局　事務局としても重々承知しているところです。委員会において、誰から出たかというところは、先ほどの数と一緒に、余りそこに引っ張られるということは良くないと思っています。何十年もこの地域に愛される校名を検討するということを考える上で、案の一つとして卒業生から出てきたものも取り上げるのですが、在校生はどう考えているのかという点はこの中でも気になる場所かと思っておりますので、そこに区切りを設けています。表記の部分については、今はイメージですが、「現在」という言葉を入れようかと考えています。在校生には、今、自分が学んでいる学校の校名をこのような学校名にして欲しいという考えがあると思うので、在籍する生徒のアイデアが一般に埋もれてしまわないように、チェックを入れていただくこととしています。

高橋委員　応募方法と周知方法に関して質問があります。色々な方法で広く募集をかけるとは思うのですが、白石委員もおっしゃっていましたが、卒業生もすごく興味がある内容だと思ひ、年齢の幅もとても広いと思ひます。今、電子が非常に中心になっているのですが、アナログ的な募集として、どこかに掲示するというのは当然行うとは思ひのですが、応募に関しても、電子メール、郵送、FAXというのもありますけれども、集計が大変かもしれませんが、年配の卒業生の方が町役場に行ったら応募用紙があり、その場で思い付き投函するというような、そういう気軽な応募方法も取り入れてあっても良いと思ひました。

事務局　今までは用紙を置いてということもあつたのですが、先ほど御説明させていただいたとおり、DX化を進めていくという県の方針等もありまして、基本的には電子となっております。気軽にということがキーワードになるかと思ひのですが、それぞれの市町の方も含めて、学校関係者、県関係者、そういう方々に募集期間を周知させていただきながら、集計の手間ではなく、時代のどこかではDXに進まなければいけないところもあり、こちらの内容を進めさせていただければと提案しております。

高橋委員　分かりました。私の職場でも、ペーパーレス化などを進めていく上で、やはりそういうのはどんどん削除していくということがありますので、それは理解しました。参考までにですが、過去の統合の際にこういった校名の募集というのはあつたと思ひのですが、どれくらいの件数の応募があつたのでしょうか。

事務局　参考資料3が過去の統合の一覧です。直近でいくつか具体的にお示しさせていただくと、今は第2期の再編統合で12校を対象としていますが、第1期というのがありまして、そちらは飯能と児玉となっております。飯能から言いますと、複数応募もあるのですが、586件です。もう一つの児玉についても同様に複数応募

もあるのですが、件数をカウントすると413件と記録されています。それ以前については、ここではお示しできないのですが、第1期についてはそのような数でした。

高橋委員 ありがとうございます。

白石委員 素朴な疑問なのですが、何度か電子化ということをお話しされていたのですが、昨年度はタブレットで資料が確認できたのに、今回紙となったのはなぜでしょうか。電子化のわりに目の前が紙だらけなのですが。

事務局 実は、タブレットが用意できませんでした。県に貸し出し用があるのですが、そちらのタブレットを借りてセッティングしていたのですが、これだけ電子化が進んでいくと貸し出し頻度も高く、人数分の御用意ができず、このような形を取らざるを得ませんでした。失礼いたしました。

依田委員長 はい。いかがでしょうか。他にございますか。よろしいでしょうか。それでは、細かく少し区切って意見を伺ってまいりたいと思います。資料2と3になりますけれども、まず、資料2を御覧ください。「1 趣旨」と「2 募集期間」になります。募集期間については御了承いただいてもよろしいでしょうか。はい。それでは、「3 応募要件」なのですが、事務局から説明がありましたように、なしとなっております。居住地も関係ありませんし、国籍も関係ありません。いわゆる全世界から募集しますということになっているわけですが、これについて御意見、御質問などはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。御意見いただきました「4 応募方法」なのですが、「5 周知方法」と併せて御意見いただこうと思います。このイメージなのですが、こういったものを各公共施設などにおいてもらせるように、県教委が各行政主体などをお願いしたり、また、小・中学校などにも周知いただくようお願いをさせていただくということかと思えます。ただ、応募については、紙の場合はFAXや郵送を使っていただくということになります。あとはホームページです。二次元コードなどが付いておりますので、スマホなどから応募をいただけるようになるということになります。よろしいでしょうか。それでは、「6 その他」にまいります。ここで少し皆様から御意見をいただいきたいと思っておりますが、まず、事務局からの説明がありましたが、校名のアイデアを募集するということになります。校名という形で〇〇高等学校という名称を応募される方もいらっしゃいますでしょうし、先ほど言ったような、緑が多いのでといったようなこともアイデアとして募集させていただくという、そのようなイメージについて、事務局から説明があったところです。その上で、皆様方に御承知、御理解をいただきたいと思っているのが、複数案の校名案候補を選定という部分でございます。この準備委員会において、あくまでアイデアを参考にさせていただいて、校名案の候補を複数選定、策定していただこうと考えております。複数案というところなのですが、一つに絞れば良いではないかという声もあるかと思えますが、埼玉県では学校の名称を条例で決めております。越生高校にしても鳩山高校にしても、今は県立高等学校設置条例で学校名が定められておまして、その条例案を議会に提案するのは埼玉県知事ということになります。知事が議会に提案をして、議会がその提案について、可否を議決することになります。あくまで、校名案を議会に提

案するのは知事ということになりますので、教育委員会は、知事にこういう案がありますと提供する形となります。知事が校名案を決定して議会に提案しますので、準備委員会としては、教育委員会が知事に提供する複数案を選定するという、そういう考え方でございます。少し分かりにくい説明ですが、お分かりいただけますでしょうか。そこで、皆様方にはアイデアを参考にさせていただいて、この準備委員会で何案かを策定、選定していきたいと思っております。ここにつきまして、皆様方から御意見、御質問がございましたらお願いしたいのですが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。校名アイデアの募集が終わった後で、今年度2回目の準備委員会を開かせていただこうと思っております。それでは、2行目にまいりたいと思います。「校名アイデア募集は投票ではないので」とあります。投票ではないというのは何を申し上げているかと言いますと、多い少ないではないというお話をさせていただいております。〇〇高校が何票、□□高校が何票ということの多寡で私も準備委員会は判断をしない、あくまで準備委員会は、校名案のアイデアを参考として、教育委員会に対して案を作るということになります。ですので、応募の数なのですが、これにつきましては事務局からお話がありましたように、皆様方のその案の選定が終わり、複数案が決まるまでは、応募の数はこの準備委員会で皆様には御提供せず、もちろん私にも応募の数は分からない形で話を進めさせていただきたいと思っておりますが、それにつきまして、皆様方、御意見、御質問はございますか。御了承いただければ、2回目の会議では、いただいたアイデア募集の案を示させていただいて、応募数がいくつかは示さないということでまいりたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。御理解いただきありがとうございます。その上で、皆様方の意見をいただき、今回については意見をいただくだけではなくて、案を皆様で作りあげていきたいと思っておりますので、御理解いただきたいと思っております。校名アイデア募集の結果は、応募数も含めて、校名決定後に県民には公表させていただくということになります。事務局に伺いますが、応募数について、委員の皆様にはどのタイミングでお示しいただけますか。

事務局 はい。今、委員長からあったとおりなのですが、皆様には全体に校名が公表される少し前に、こちらからこのような形でしたとお伝えしたいと思っております。申し訳ありませんが、いつになるかはまだ検討中でございます。

依田委員長 はい。ありがとうございます。資料3を御覧ください。これはあくまでイメージですので、表面については、この後また手が加わっていきますが、これについて、なにかお気づきのことや御意見等ございますか。よろしいでしょうか。裏面を御覧ください。先ほど生徒のチェック欄の話がありましたが、その他でも結構です。御意見、御質問等ございますか。高橋委員、お願いします。

高橋委員 先ほど校名のアイデアの例としまして、緑をイメージしたというような書き方もあるということなのですが、そういった書き方をするという例があると少し書きやすいのかと思っております。アイデアとはどうやって書いたら良いのだろうというように考える人もいるのかと思っております。そういったアイデアを出す形もあるということをお応募する方が知った方が良いと思っておりますので、記入例みたいなものがあると良いかと思っております。

事務局 はい。非常に大切な視点だと思います。誤解のないようにアイデアを募集したいし、それが資料となって皆様の議論に有効な形でイメージをお伝えできるよう工夫してまいりたいと思います。

依田委員長 これは生徒欄にチェックを入れるということになりますから、2回目の会議でアイデアを委員の皆様から事務局から提示していただく際に、アイデアが生徒から出ているかどうかのお示しはどう考えていますか。

事務局 はい。資料については、一般の方からの意見と生徒からの意見は別にしたいと考えております。同じようなアイデアが複数あった場合には、それはまとめた形と考えています。実際に取ってからという状況もありますけれども、チェックを付けていただいた生徒の意見と一般の意見は皆様に御提示していきたいと考えております。

依田委員長 皆様方が特にそれで何かを縛られるということではないですよね。あくまで生徒かどうかを参考に提供していただくという趣旨ですよね。

事務局 はい。そのとおりでございます。今回、皆様に先ほど申し上げましたが、何十年も続く新校ということになりますので、出していただいた方の思いを汲めるような資料としていきたいと考えています。先ほどの数のこともありますが、その部分は伏せながら、意見をこちらで集約して御提示したいと思っております。

長島委員 アイデア募集応募用紙の表面についてですが、開校予定の〇〇新校というのは、実際にはどういう文言が入るのですか。募集期間は、令和6年6月14日から7月26日と入ると思うのですが、新校のキャッチコピー等を記載というのは具体的にどういうことを表現しているのかをお願いします。

事務局 はい。御意見ありがとうございます。こちらについては、先ほど申し上げたとおり、まだイメージなのですけれども、新校のところは「越生・鳩山新校」という形になります。まだ校名が決まっていないので、基本計画の中に示させていただいた「越生・鳩山新校」というような形で校名として入れさせていただきます。また、募集期間は先ほど長島委員がおっしゃったとおりの期間です。キャッチコピーについてですが、今、越生高校、鳩山高校とやり取りしているところです。こちらについては、学校の思いが伝わり、余り長々とならないような、学校のイメージが分かるようなキャッチコピーを入れていきたいと考えてございます。

長島委員 新校の概要の説明のところに、県立越生高校と県立鳩山高校を統合し、県立〇〇高校を越生高校の場所に設置しますとなると思うのですが、その前段の開校予定の〇〇新校が、先ほどお話を聞いて、「越生・鳩山新校」の校名アイデアと言っていましたけれど、そうすると、募集される前に鳩山か越生かというイメージが強すぎて、新校ならば、先ほど説明があったように緑を想像するような斬新な校名が出てくれば良いのですが、越生・鳩山に偏るのではないかなという気もするので、できれば両方ない方が良いのではないかなと思うのですが、どうでしょうか。

事務局 はい。ここについては6校を併記した形で一つ一つの募集をかけていきたいと考えています。御意見をいただきながら、こちらでも検討いたしますが、今のところ、同じような括りで6校を同じように説明させていただこうと考えておりますので、そのような形のイメージとして提示させていただきました。

依田委員長 今の長島委員の御提案なのですけれど、表題の部分について、地域が分からないですよね。そこは「越生・鳩山新校校名募集」という感じでしょうか。

事務局 今のところ、これはまだイメージと書かせていただいているのですが、まず表記のところでアイデア募集というところを先ほどから強くお伝えしています。今のままだと校名募集に見えてしまうという意味合いもあるので、そこも含めて変えていこうと思います。ただ、この一番頭のところに学校名を入れるかどうかというところについても検討中でございます。今の長島委員のような御意見を各6校分いただきながら、同じようなイメージの部分为学校と協議しながら決めていきたいと思っております。

依田委員長 長島委員、いかがですか。よろしいでしょうか。

長島委員 検討していただきたいです。

依田委員長 よく検討してください。小さい字だとどこの学校を募集しているの分からないですよね。他にございますか。はい。岩澤委員お願いします。

岩澤委員 今のお話を聞くところによると、6校の校名募集は同時タイミングで行われるという解釈でよろしいかと思っておりますが、その場合、今お話のありました、最初の部分のところを目立つような形にさせていただかないと、どこの高校の募集なのか、また、一枚の紙を見てそれが全部同じではないかというように捉えられてしまうといけないので、そういった工夫はお願いしたいと思えます。別件なのですが、これから校名案を検討するとき、過去の例で400とか500件の応募があったということなのですが、次回の会議で応募があったものは、1次審査のようなふるいがかけられたものを我々が目にするようになるのか、それとも数百というものの全部の中から選ぶことになるのかということをお聞きしたいと思えます。それから、この募集の内容を見ますと、個人情報というのは、そこまで分からないような形で募集するという事だと思えますので、採用された方への連絡や記念品というものは考えられてないのかと思ったのですが、その内容についてお聞きできればと思います。

事務局 はい。ありがとうございます。まず一つ目の、もう少し学校名を目立たせてという、先ほどの長島委員と同じような趣旨かと思えますので、こちらの方でも承って検討してまいりたいと考えてございます。続いて、記念品の話があったのですが、校名を募集しているのではなく、アイデアを募集しているので、企画としては用意していません。続いて、応募のあったアイデアのすべてを示されるのかという話がございました。そこについては、アイデア募集ですので、例えばA案が出てくれば一つの案として提示させていただきます。また、同じアイデアだとしてもそれぞれの思いや理由があると思うので、集約した形で全体をお示ししようと検討しています。例えば、こちらがふるいにかけて、この辺はいらぬというようなことは行わず、2回目の準備委員会では応募いただいた方の思いを尊重し、基本的にすべて提示させていただく予定です。3回目の準備委員会では、委員の中で出てきた御意見をもとに絞ったものを、そこから更に絞り込んでいくというような形で考えております。

岩澤委員 ある程度カテゴリーに分けたような形で、同類のものを集めるような形で

仕分けをされて、我々には全体が見られるような形で分類してもらおうということでよろしいでしょうか。

事務局 そのとおりでございます。

依田委員長 はい。他にございますでしょうか。全体をとおしての御質問、御意見等いかがでございますか。

本橋委員 自分自身が3年間、鳩山高校が学区にあった鳩山小学校に勤めていて、鳩山高校にも思い入れがありますし、この4月から越生中学校に勤めていて、両校にかなり思い入れがあって、アイデアが今、自分の中で結構湧いているのですけれども、ここでアイデアを募集するときに、この場でいくつか出すという説明がありましたが、自分達で出したアイデアがここにあるからこそ、この場で出したアイデアは逆に決まりづらくなるのでしょうか。

依田委員長 今の本橋委員の御質問にお答えいただきたいと思うのですが、例えば、アイデアに全くない校名も委員の皆様様の御発議で選定することはあり得るでしょうか。

事務局 はい。それもあり得ます。ただ、もし案があれば応募していただきたいと思えます。私が関わった学校で、幸手桜高校という高校があります。幸手桜高校は、実は元々、幸手桜香高校とか、色々な案がありました。その中で、「香」はいらなないから、「桜」一つだけで良いというような議論もあったということが前例にありました。委員会の中で、議論していただけたらと思っています。

依田委員長 本橋委員、よろしいでしょうか。はい。それでは、全体をとおして引き続きいかがでしょうか。御意見、御質問がございましたらお願いします。よろしいでしょうか。次回の会議について、皆様様の御意見をいただきたいと思えます。次回、募集が終わり、アイデアが出てまいります。岩澤委員からの御質問に対して、事務局から回答させていただいたように、募集したアイデアを皆様に御提示させていただくこととなります。そこで、次回の会議の公開、非公開について、事務局からお話があります。

事務局 はい。皆様に事務局から提案させていただければと思っております。会議の公開、非公開については、その回の冒頭で皆様にお諮りして決めております。ですが、次回の会議について、事務局としては非公開でお願いできないかということですが、なぜかと申しますと、今回のアイデア募集は数ではありません。市町村のお住まいの方たちの得票数でもない。なおかつ、中身の話が1人歩きされても困るところです。会議として公開にしてしまうと、議事録が出てしまいます。そうすると、どういう方向で今考えられているかが分かり、意見を委員に言ってくるということがあり得ると考えております。できれば、公正公平を考えた上で、皆様に安心して議論していただくため、非公開にさせていただきたいと思えます。もう一つの理由としまして、なぜここでお諮りしているかと言いますと、もし、傍聴者がいた場合に当日このお話を非公開になってしまうと、そこでお帰りいただくことになってしまうため、それであれば、次回の会議については非公開を予定していることを、先んじてお伝えしておいた方がよろしいかと考えました。

依田委員長 次回の会議の公開、非公開をここで決定をさせていただきたいと思いま

すが、まず、御意見、御質問などございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは、次回、非公開ということでよろしいでしょうか。非公開となりますと、皆様方は誰にも喋れなくなります。この会議でこんな話があったとか、こんなアイデアがあったよとか、会議の方向性としてはこんな感じみたいなことを誰にも言うてはいけないことになってしまいます。特に行政関係者などは難しいこともあるかとは思いますが、また、PTAにしても同窓会にしても一緒だと思います。周りは、自分たちの代表として参加いただいているのに自分たちに話がないということになりますので、難しいお立場もあるかとは思いますが、ここは非公開ということで、事務局からのお願いでございました。御理解いただいてよろしいでしょうか。それでは、次回の会議は非公開ということで決定をさせていただきます、会議のホームページなどでの案内でも、非公開となっておりますということで明示いただければと思います。はい。ありがとうございます。本日予定しておりました議事につきましては、以上で終了となります。